



おさな草



No. 11
2025. 1. 7

「準備」と「仕上げ」の3学期（始業式の校長先生のお話より）

校長 高橋 宏典

「明けましておめでとうございます。」

新年にふさわしい気持ちのよい挨拶ができました。雄踏小学校に、元気な皆さんが戻り、とてもうれしく思います。

今年は巳年、へび年。へびが、皮を脱いで（脱皮といいます）脱皮を繰り返して大きくなっていく様子を見た昔の人は、死なない、変化をして成長し続けていくというイメージをもつ生き物として考えていたそうです。

さて昔から、「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。元旦とは1月1日のことです。「計」は「計画」の「計」。なりたい自分になるために年の最初に計画を立てて行うことが大切ですよ、という意味の言葉です。ということは、学校では「1年の計は、3学期のはじまりにあり」と言えますね。3学期は学校へ来る日は48日。とても短いですが、とても大切な学期です。2つ理由があります。

理由その1。4月になると皆さんは、次の学年に進級します。6年生は中学校へ進学し、他の皆さんは1学年上のお兄さんお姉さんになります。3学期は、その気持ち・こころの準備をする大事な学期、「準備する学期」だからです。

理由その2。1つ上の学年になる準備のためには、今の学年で身に付けなければいけないことをしっかり仕上げる、しなくてはいけないことを最後までやり切ることが大切です。3学期は「仕上げる学期」だからです。特に、6年生は、小学校の総仕上げの学期になります。希望を胸に、中学へ羽ばたいていくためにも、雄踏小の最高学年として、小学校でのことをやり切って、最後までみんなが憧れるお兄さんお姉さんであってほしいです。

「準備」「仕上げ」この大事な2つを意識して、3学期は、勉強や生活をして、へびのように脱皮して大きく成長しましょう。

みなさんは3学期がんばりたいことを考えましたか？

1・2学期のやり残しはないですか？

努力する前から諦めていることはありませんか？

まずは一歩踏み出さなければ、何も始まりません。目標を立てて、行動しましょう。へびが脱皮して大きく成長するように、今の自分に満足せず、目標に向かって努力を続ける。そんな皆さんを、雄踏小の先生たちは全員全力で応援していきます。よい準備と仕上げができるようにがんばっていきましょう。

【来年度へ向けて】



先日は、学校アンケートへ御協力ありがとうございました。結果をまとめたものは1月中にお知らせしたいと思います。また、アンケート結果をもとに12月末から、来年度の教育課程についての話し合いを進めております。子供たちのよいところを伸ばし、課題を改善し、誰もが楽しく成長し合える学校となるように全職員が関わりながら進めていきます。本年度と変更する点がある場合、随時お知らせしていきます。今後とも御理解と御協力をよろしく願います。